

あまみ 市議会だより

No.65

2022.6



▲ 3月27日 宮古崎トンネル開通式典



▲ 4月3日 大浜海浜公園海開き



▲ 4月8日 奄美市転入教職員合同着任式



▲ 4月19日 県市町村連携会議・WEB開催

奄美・沖縄 世界自然遺産

©amami-ancc



第1回定例会

令和4年2月15日～3月25日

発行／奄美市議会
編集／奄美市議会だより編集委員会
〒894-8555
鹿児島県奄美市名瀬幸町2番8号
TEL：(0997) 52-1111
FAX：(0997) 52-2815
Eメール：gikai@city.amami.lg.jp

第1回定例会一般質問・・・・・・・・・・・・・2～8P

第1回定例会常任委員会、予算委員会概要・・・・・・・・・・・・・9P

第1回定例会の主な議案・・・・・・・・・・・・・10～11P

あとがき・・・・・・・・・・・・・12P

第1回定例会 一般質問

市政を問う

3月3日、4日、7日、8日の4日間で19名の議員が市政全般にわたり施策の状況や方針などについて、市当局に問い質しました。要約をご紹介します。

3月3日

1 栄 ヤスエ
2 奥 輝人
3 与 勝広
4 幸多 拓磨
5 伊東 隆吉

3月4日

1 崎田 信正
2 弓削 洋平
3 荒田 幸司
4 関 誠之
5 永田 清裕

3月7日

1 竹山 耕平
2 橋口 耕太郎
3 大迫 勝史
4 奥 晃郎
5 多田 義一

3月8日

1 松山 さおり
2 正野 卓矢
3 林山 克巳
4 和田 霜析

奄美市議会録画配信

検索

※奄美市議会ホームページで一般質問の録画中継がご覧いただけます。



栄 ヤスエ
(公明党)

女性の健康・防災
住宅政策について

知・啓発に取り組む。

問 個別避難計画について

答 本市の要援護者は市民全体で約7千人。要支援者の同意や地域の高齢化で避難支援者の確保が進まない状況。計画作成については、奄美大島介護事業所協議会等からも避難体制の構築支援の要望があり、関係団体と協議を行う予定。

問 子宮頸がんワクチン接種勧奨について

答 令和4年4月から対象者へ個別勧奨を実施する(対象者 小学6年～高校1年の女子)。本市の接種機会を逃したキャッチアップ接種対象者は千人。

問 コロナ禍での乳がん・子宮がん検診について

答 コロナ対策として名瀬地区は完全予約制、住用・笠利は広い会場で実施。女性がんの早期発見に努める。

問 公立小中学校の女子トイレへの生理用品設置について

答 今後アンケートで実態把握を行い、生徒に寄り添った対応を考える。

問 毎年3月1～8日を「女性の健康週間」として取り組みができないか

答 「女性の健康週間」をきっかけの一つとして、周



奄美・沖縄航空運賃の
低減化について

問 南部大島畜産農家の支援に向けて、奄美市を含む4市町村での広域の中で予算化して全面的な支援体制の構築はできないか。



奥 輝人
(無所属)

問 奄美・沖縄間の航空運賃は、奄美・鹿児島間の離島割引制度の運賃と比較して非常に高く、安くしてほしいとの声が多い。奄美・沖縄連携交流促進事業の予算の増額はできないのか。

答 検討していく。

問 台風時による、島外向け農産物(マンゴーやパッションフルーツ)の航空便輸送はできないか。

答 船舶が欠航した際に緊急的に農産物を航空輸送する事において、航空会社との調整が重要と認識している。

問 予算の増額については鹿児島県及び奄美群島12市町村の負担金の増額に加え、沖縄県においても同様に増額いただく必要が生じることから、協議会において慎重に議論を重ねていく。

問 奄美大島家畜市場の充実・活性化に向けた市場内の環境整備について

答 セリ市場の統合で出場頭数が増加することに伴い、駐車場スペースの確保や機械(セリ機、扇風機)などの更新、場外掲示板の設置など検討している。



▲食事中的繁殖母牛

市長の政治姿勢について



与 勝広
(公明党)

問 2022年度当初予算が編成されたが、市長就任後、初めての予算編成だったがその思いと決意について。安田市政にとって最重要政策・最重要課題は何か。また、市長の88項目のマニフェストはどのように反映されているのか。

答 できることから一つ一つ実行に移してまいりたいとの思いを持って初めて予算編成に取り組んだ。また、最重要政策・最重要課題については「民間との連携をこれまで以上に」と、「施策の実施にあたってはスピード感を持って取り組むこと」、「市民に寄り添う市役所であること」の3点を具体化するよう取り組む。まずは、「新型コロナ対策」にしっかりと取り組む。感染拡大防止の徹底、そして地域経済活

動の回復に地域の実態や国・県の動向を踏まえながら、地元自治体として必要な対策や支援を適宜適切に実行してまいりたい。また、世界自然遺産や脱炭素に向けた施策に一体的に取り組む「世界自然遺産課」を新設し、組織体制の強化を図るとともに、世界自然遺産の価値を存分に発揮したい。マニフェストについては88項目中、半数弱の41項目について記載できたと考えている。



防災対策について

屋仁川道路事情について



幸多 拓磨
(チャレンジ奄美)

問 避難場所利用される公共施設における緊急食糧の備蓄や毛布等の配備について

答 公共施設の備蓄については、食料の管理や場所の確保が難しいことから、名瀬、住用、笠利総合支所など主要な場所に備蓄している。今回の津波警報時においても、総合支所や学校施設などにおいて、毛布の提供を行った。非常食など災害備蓄品の主なものにおいては各支所において保管している。

問 聴覚が衰えている方、聴覚障害をお持ちの方への津波警報の伝達について

答 津波警報に伴う避難指示の伝達については、防災行政無線、エリアメール、テレビ、ラジオ、SNS、ホームページ等で伝達している。聴覚障害者への有効な伝達手段

としては、視覚やバイブレーションで伝達できるエリアメールや緊急情報を受け取った家族等からの連絡等があるが、視覚に訴える伝達方法についても、赤色灯などの提案があったが、今後どのような伝達手段が有効か協議したい。

問 屋仁川通りにおいて逆走が多く起きており危険。表示の明確化について。

答 交通管理者との協議の上、工事発注を終えており、本年度中に設置完了の見込み。



▲屋仁川通り

安田市長の政治姿勢

令和4年度施政方針



伊東 隆吉
(自民党新政会)

問 市長は「明るくやさしく風通しのよい未来都市奄美市」の将来像を描きその実現に向けスピード感を持って取り組むと示したが、その熱い思い、また「新たな」の施策事業での目玉政策はどれか

答 平田元市長、朝山前市長が築いた奄美市の礎、屋台骨を引き継ぎ「チーム奄美市」でより良い奄美市を創り上げたい。目玉政策は3点①世界自然遺産効果を発揮するため組織づくりを含めた事業、②多様な働き方モデル創出事業、③「地域おこし協力隊」として全日空から人材を受け入れ、民間企業のノウハウを活かしたい。

問 「環境保全協力金」の導入を検討すべきでは

答 自然環境の保全に新たな財源として、協力金を求める仕組みについて必

要性は認識している。他町村や関係機関と連携し研究する。

問 住用城道路拡幅について、集落住民（地権者）との同意書の現状と今後のスケジュールは

答 区長より関係する地権者へ道路改良事業への意見を確認するものとして発出されており、区長が直接訪問し、趣旨等説明し、地権者の皆さんから事業の理解を頂いていると伺っている。今後関係する皆様方の協力同意を確認した上で改めて県へ要望書提出を行いたい。



奄美市の国保税額と協会けんぽ保険料の比較について



嶋田 信正
(日本共産党)

問 防衛は国の「専管事項」と言われるが奄美市に関わる事柄についての対応は

答 奄美駐屯地における日米共同訓練や米軍機の低空飛行等について説明を求めたり、市民の安全・安心な生活の確保を大前提に万全の対策を図るよう要望している。公開できる情報はしっかりと説明を求め、要望も行ない丁寧な対応に努めたい。

問 日米安全保障協議委員会の共同発表における米軍の自衛隊施設共同使用について

答 報道等の情報しか持ち合わせていない。現時点での見解は控えさせていただきます。

問 全国知事会等は国保税を協会けんぽ並みに引き下げるため1兆円の財源を求めている。国保税と協会けんぽとの比較は

答 夫婦2人子とも2人の標準世帯で給与収入が240万円の場合、国保税は月額1万7、360円、協会けんぽは1万360円で7千円高くなる。

問 放課後児童支援員処遇改善臨時特別事業の取り組み状況について

答 新型コロナへの対応と少子高齢化への対応が重なる最前線において働く方々の収入を3%程度、月額9千円程引き上げる措置を令和4年2月から実施。放課後児童クラブは保育所と同様に、社会活動に与える影響が大きいくコロナ禍の中でもできる限り休所、休園とならないように取り組んでいる。令和4年度以降も賃上げ効果が継続される取り組みで、所要額を調査し事業を実施する予定。

ラムサール条約について



弓削 洋平
(チャレンジ奄美)

問 ラムサール条約湿地の登録においての規制や波及効果について

答 住用マングローブを含む島内全域に国立公園等に必要な保護担保措置が既に取られている奄美大島においては、ラムサール条約湿地に登録したことによる追加的な法的規制が生じることはないと考えている。波及効果については当該場所の湿地が国際的に認知されることとなり、自然環境の保全や国内外への魅力発信の好機となることに加え、学校教育や生涯学習講座、持続可能な観光の対象として取り扱われ、人と自然が共生する地域づくりの推進につながるものと考えている。

問 住用町のマングローブ湿地帯の登録について

答 当該マングローブ湿地帯の自然環境や生物多様



性が潜在候補地として評価されていることも踏まえ、観光資源としての魅力向上や分散化による環境負荷軽減も期待されることから、前向きに検討する。登録に向けた取り組みを行う場合、地元の理解と意識醸成が大変重要と認識していることから、環境省や鹿児島県をはじめとする関係機関との連携や地元向けの勉強会なども含めた機運醸成を図りつつ、島内の潜在候補地も含めて取り組みを進める。

安全保障及び市民生活に関連して



荒田 幸司
(日本共産党)

問 復帰運動の次世代への継承

答 令和5年は、日本復帰70周年の節目を迎える。奄美群島12市町村それぞれが、この歴史的運動を幅広い世代に継承できるように、広域事務組合をはじめ、関係団体と連携し、伝承方法などについて検討していく。

問 電子戦部隊配備計画

答 本年3月末までに配備完了予定と伺っている。部隊の役割は電波の収集・分析、リーダーや通信の妨害・無力化を図ること。部隊編成は40名程度。

問 コロナワクチン3回目の接種対応

答 高齢者に続き、2回目接種から7か月を経過した基礎疾患を有する方や一般の方についても順に接種券の送付と予約を開始し、迅速に進めていく。



問 津波警報に伴う避難の実態

答 渋滞が発生した箇所について2月16日に現場診断を行った。今回の津波避難を教訓とし、地域にあつたきめ細かい避難計画の策定支援に取り組んでいく。

問 春日町市営住宅の和式から洋式トイレへの改修について

答 市営住宅におけるトイレの洋式化は52%。公営住宅等長寿寿命化計画に位置づけ、補助事業の活用や工法等も含め検討していく。

令和4年度施政方針と 予算編成について



関 誠之
(立憲民主党)

問 令和4年度施政方針と予算編成について

答 施政方針の重点事項は、世界自然遺産課の設置、環境文化型遺産登録の効果を波及させる「世界遺産フラットホーム」の設置など。予算編成では、観光客に外来種駆除などの環境保全活動を体験してもらうなど「観光と環境」を掛け合わせた新たな事業や「稼げる漁業づくり」を創設する。

問 行財政改革の推進と広域行政のあり方について

答 投資的経費は、今後5年間は概ね40～60億円で推移する。地方債現在高が令和3年度末総額約582億円となる。財政規律である単年度規律の起債枠36億円を可能な限り遵守し、起債残高の管理と財政健全化に努める。

問 開発公社に対する事業代位弁済金について

答 開発公社の3月末期限を迎える借入金返済18億7,773万円を事業代位弁済金として補正予算に計上した。歳入は土地売却いとして収入19億9,974万2千円を計上している。令和5年3月末に期限を迎える元金6億円も代位弁済として市が支払う予定。

問 開発公社理事長としての責任のあり方は

答 現時点での、役員の責任についての言及は控える。



市長の政治姿勢について



永田 清裕
(自民党新国会)

問 予算編成の特徴及び重点取り組み

答 予算規模は前年度比較では、市全体予算としては約5億円増、一般会計では約1・1億円の減額となっている。引き続き、新型コロナウイルス対策を最優先に取り組み。重点事業は世界自然遺産に関する一連の取り組みの充実・強化。また、地域おこし協力隊受け入れなど民間との連携や知見を活かし、所得向上、地方創生の推進に取り組み。

問 奄振法延長への取り組み

答 群島唯一の「市」である組織として新たな奄美群島成長戦略ビジョンにおいて、政策課題解決策の提案や新規事業の理論構築に貢献する。奄振交付金の有効活用には世界自然遺産登録効果の発揮、様々な分野でのデジタル

技術の活用等を新たなビジョンに盛り込む。

問 小中学校整備事業計画

答 令和元年度に「学校施設における長寿命化計画」を策定し年次的に整備を進めている。今後については5～8億ほどの規模で平準化を図った計画を予定している。

問 小浜保育所整備計画

答 整備検討委員会を立ち上げ、具体的に議論を始める。先だって現場視察を行う予定。

【その他の質問事項】

◎かこしま国体

◎海岸漂着軽石対策



爆発的コロナ発生後の 経済対策早期実施を



竹山 耕平
(自民党新国会)

問 アフターコロナ・ウィズコロナ時代を見据えた経済支援事業について

答 奄振交付金を活用した「利子補給事業」や「プレミアム商品券事業」を実施している。国の「事業復活支援金」の積極的活用を周知するとともに、本市独自の事業所支援の早期実施を検討している。

問 プレミアム商品券等、緊急経済対策支援事業を早期に実施すべき

答 商品券事業は消費低迷の経済循環の起爆剤で即効性ある事業。国の支援事業と本市独自の経済対策を幅広く検討していく。

問 陸上自衛隊奄美駐屯地開設3周年を迎えた。これまでの活動や取り組み等への見解を伺う。

答 国の平和と安全の確保と本市の防災面にも市民

の安全安心の礎となっている。1月の津波警報時にも駐屯地に約百名の避難者を受け入れた。また、ハザードマップ作成への参画、奄美市防災訓練おしごとテーマパークのイベントにも協力。また子育て世帯の増加、地区の清掃活動、イベントへ積極的参加など、市民の暮らしと安全に大きな役割を果たしている。

問 スポーツ少年団等が使用する必要な備品等への補助支援制度の創設を

答 スポーツ活動の設備備品は必要不可欠で、本市のスポーツアイランド構想の観点から重要と認識している。他自治体の取り組みを今後調査研究し、前向きに検討したい。



防災行政について

（1月の津波警報）



橋口 耕太郎
（公明党）

問 要支援者に対する個別避難計画の作成が進んでいない要因は。

答 個別避難計画の作成は、市の「避難行動要支援者名簿」に登録された要支援者が同意すれば自治会や民生委員、福祉関係機関に名簿が提供され、市や自治会等が要支援者と協議し避難計画を作成する。本市は対象者が約7千人と多いこと、要支援者の同意や地域の高齢化による避難支援者の確保が困難なため、計画策定が進まない状況となっている。

問 マングローブパーク・バンガロー施設について、両施設とも開設から20年以上経過している。施設の改修や機能強化は

答 マングローブパークは、2018年に「重点道の駅」に選定され、国県はじめ関係団体と整備



▲住用町バンガロー施設

【その他の質問事項】
◎オミクロン株について
◎水道事業について
◎学校におけるコロナ対応・校則について
◎奄美市の市花・市木について

施政方針と防災、環境問題について



大迫 勝史
（公明党）

問 防災ラジオ50台の配布先と同事業の内容について伺う。

答 防災無線の難聴地域や戸別受信機の無い防災拠点・避難施設への配布の他、戸別受信機の故障交換機として運用し、来年度試験的に50台運用し、状況を検証しながら今後の継続・導入台数の検討をしていく。

問 市道塩浜朝仁線から長浜町へ抜ける市道長浜35号線を避難路として上りだけの一方通行にできないか伺う。

答 本路線については狭路であると認識しているが、一方通行規制は地域住民の要望や交通状況により交通管理者（警察）が判断するものでご理解頂きたい。

問 商工会議所ビル建て替えに対する補助金の検討はできないか。

環境問題について

答 商工会議所より要望のあった現在地の使用継続と、細会館を仮事務所として使用料を全額免除で提供している。会館建設の助成については現時点で先方より正式に要望を受けておらず、今後要望があったら内容を確認し検討していきたい。

問 「奄美市地球温暖化防止実行計画」の進捗状況と評価を示せ。

答 2018年度はCO2削減目標値に対して18%の削減、2019年度は17・8%の削減、2020年度は20・6%の削減と目標値は概ね達成している



自治会・集落の活性化について



奥 晃郎
（自民党新政会）

問 駐在員・自治会長・嘱託員手当の見直し

答 行政情報の周知徹底と行政の円滑な運営を図るため、名瀬地区は行政協力員、住用地区は嘱託員、笠利地区は駐在員として

地域住民への情報連絡、災害時の対応に関する業務等を委託している。名瀬地区は平成12年度をもつて一度嘱託員制度を廃止したが、平成25年に新たに行政協力員制度を創設。自主防災組織の有る、無しにより委託料を定めている。住用・笠利地区は基本額を定め、地区ごとの世帯数に応じて委託料を算出しているが、合併以降16年間に於いて委託料（報酬）の見直しは行われていない。委託料を算定する場合、業務内容、業務量、業務にかかる時間、人口及び世帯数などに対する算定基準が

必要になる。しかし、3地区についてはそれぞれ地域ごとに特色があり、委託事務の進め方についても、地域に合った方法で実施されていることも考慮すべきである。令和2年度の国勢調査による新たな算定基準の導入に向けて3支所間で調整を図っている。

【その他の質問事項】

◎安田市長の政治姿勢について

◎SDGsへの取り組みについて

◎津波警報時の問題・課題等について



新型コロナウイルス対策について



多田 義一
(自民党新国会)

問 市長就任後初めてとなるコロナ対応となるが課題解決に向けて奄美市独自の取り組みは

答 感染の急拡大を受け、現段階での感染状況と医療体制の状況についてしっかりと確認し、行政として必要な対策を行ってきた。奄美大島警戒レベルを最大の5に引き上げ、人流抑制を含めた感染防止対策強化に努めた。また、市内小中学校における冬休み期間の延長を行った。さらに食料品等の確保が難しい方へ支援物資の提供を行った。

問 市内の飲食サービス業を含め、今回は酒類の提供が出来ずかなり厳しい要請が県より出され、大きな経済損失が懸念される。関係事業者もかなり多く全体的な支援は今のところ限定的であるが、影響がある業種の支援のため

の分析や聞き取り等、どう進めているのか。

答 時短要請に協力いただいた飲食店に対し県と市町村が連携・協力し時短要請協力を給付する事業を実施。国では新型コロナウイルス感染症により影響を受けている幅広い業種の個人・中小規模事業者に対し、事業復活支援金を実施。併せて市内の経済団体、金融機関、社会福祉協議会など関係機関へ聞き取りを行い、先に提案させていただいた補正予算6、323万円の制度設計を検討しており、早期に事業実施できるように努めていく。



少子高齢化に伴う人口減少問題について



松山 さおり
(輝風クラブ)

問 経済対策実現に向けての奄美市独自の単独一般事業とその成果について

答 地域消費を喚起するとともに、中小小売店等の販売促進を図るための「プレミアム商品券発行事業」を実施。令和元年度には約2億9百万円が市内経済で循環。また、創業者の育成支援として「あまみ創業塾」を開催。創業塾において38名の人材育成を行い、6名の創業支援助成を行っている。平成27年度から、フリーランスの人材育成や仕事拡大、マネジメントにより202名を育成。観光分野では「奄美満喫ツアー助成事業」を平成23年度から実施。

問 脱炭素社会に向けての奄美市の今後の取り組み

答 本年度導入した「奄美市二酸化炭素排出抑制対策事業」により、本市全

体のデータ収集や本市に適した再生可能エネルギーの調査・検討を関係部署で連携を図りながら検討している。

問 全国でも行われている「自然保全再生事業」を取り組む考えはないのか

答 自然環境に配慮した事業はこれまでも実施している。島内における公共事業の環境配慮についても県により指針が策定されている。

【その他の質問事項】
◎住宅問題について
◎環境教育について



津波避難について



正野 卓矢
(チャレンジ奄美)

問 1月16日の津波避難で見えた課題について

答 現場検証から確認した課題を分析し、解決に向け協議中である。今後専門的な知見を参考に誰ひとり取り残さない避難を目指して各自自主防災組織と連携して防災意識の醸成に努め、課題解決に向けて取り組んでいきたい。

問 避難所の見直しについて

答 指定避難所・緊急避難場所については防災会議にて必要に応じて見直しを図っている。

問 個別避難計画作成について

答 避難行動要支援者の適切な避難行動支援につながるよう自主防災組織、各関係機関とも連携し、取り組んでいきたい。

問 副反応・後遺症について

答 個人の負担が大きくなるケースを想定して、子ども医療費助成制度において対応できるものと考えている。

問 持続可能な奄美観光の実現に向けて

答 奄美観光の『売り』は自然と共存して育まれた伝統文化や暮らしにあり。その事を認識し活用する事が「持続可能な奄美観光」の実現につながるものと考えている。



デジタル化に向けた取り組みについて



林山 克巳
(輝風クラブ)

問 コロナ禍におけるデジタル化（ワクチン接種率及び証明書活用・マイナンバーカード・VR動画）について

答 2月24日現在、1、2回目の接種率は全体で85・1%、3回目は、19・5%。現在ワクチン・検査パッケージは休止されており、国や県からの情報を踏まえながら、円滑な活用体制を整えたい。マイナンバーカードの1月31日現在の交付率は45・81%（全国72%、鹿児島県39・25%）となっている。VR（バーチャルリアリティ）動画は、新たなデジタル技術を活用したプロモーションツールとしてYouTubeチャンネルへのアップロードも予定しており、パソコンやスマートフォン等で見ることもできる。

問 デジタル地域通貨導入
答 ほーらしゃ券のデジタル化について、事前申し込みをいただいた市民や取扱店舗を対象にアンケートを実施した。結果は左記のとおり。

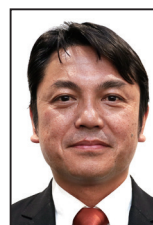
ほーらしゃ券デジタル化アンケート		
市民	紙の商品券が良い	62.8%
	電子商品券を使用してみたい	37.2%
取扱店舗	紙の商品券が良い	55.9%
	電子商品券を取り扱ってもよい	44.1%

電子化を期待する市民の声も一定数あることも認識できた。

【その他の質問】

- ・奄美市開発公社について
- ・自衛隊基地案内標識
- ・下方地区環境整備（朝に新川について）

新型コロナウイルスについて



和田 霜析
(自民党新国会)

問 年明けからの感染拡大について

答 感染者の療養期間については、症状がみられた方は原則10日間、症状が無い方は検体採取日から7日間となっている。また、濃厚接触者については、原則7日間となっている。ただし、感染者が自宅待機となり同居家族である濃厚接触者は、2月2日から対応が変更になり、自宅においてマスク着用や手指の消毒、共用部分の消毒、食事時間を分けるなどの感染対策を行っている場合は、感染者の陽性判明日を0日として7日とされている。

問 無料PCR検査キットについて

答 感染が急拡大となっていた1月9日に届いた800セットについては、感染拡大防止の観点から優先度を考慮し、介護福

祉施設、保育所等の児童施設を中心に配布した。追加の1、200セットについては、奄美市薬剤師会のご協力のもと、一般市民を対象に、感染について不安のある無症状者の方へ配布を行った。

【その他の質問事項】

- ◎防災について
- ◎世界自然遺産について
- ◎カーボンニュートラルについて
- ◎古見方地区について



一般会計予算等審査

314億597万5千円（前年度比0.4%減）

議案6件を審査し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。事業や議案の一部をご紹介します。

地域おこし協力隊事業 251万6千円

外部人材の活用事業としてANA（全日本空輸株式会社）から1名、期間を1年間として受け入れるもの。

RPA シナリオ保守業務 935万3千円

RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）にて業務の効率化を図るもの。現在、非課税世帯特別給付金等の24の業務で活用。

世界自然遺産利用環境向上事業 181万5千円

金作原の知名瀬側三叉路にバイオトイレを借り上げて設置し、運用状況等について検証を行うもの。

私的二次救急医療機関 補助金 802万1千円

24時間365日の緊急体制を整え県に認定された民間の医療機関に対し奄美大島5市町村の連携事業として補助金を交付。

農林水産物輸送コスト 支援事業（加工品含む） 3,031万9千円

本土との流通条件の不利性を軽減するため、農林水産物や焼酎、粗糖等の島内から島外への輸送に対し支援を行うもの。

観光×環境保全企画 提案事業助成金 1,000万円

奄美大島に訪れる旅行者を担い手として、直接的な環境保全に資する取組みに対し、費用の一部を助成するもの。

文教厚生委員会

令和3年度

一般会計補正予算(第8号)

問 子育て・保健・福祉複合施設の整備計画について**答** 令和4年度に供用開始の予定だったが、社会情勢の変化によって複合施設を取り巻く環境は厳しい状況。精査・見直しし、出来る限り基本構想の目的に沿った形で整備を考えている。**問** 風しん抗体検査業務で対象者の3分の1程度しか受診していないが今後の対応は。**答** 3年間の延長が決まり、引き続き抗体検査を実施していく。**令和3年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について****問** 剰余金がそのまま積立金となっているがその用途は
答 国保の事業全部に充てることができる。**令和3年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算(第3号)****問** 内科業務の1,400万円増額について**答** コロナの影響により発熱外来受診者が増加したため。

産業建設委員会

奄振交付金活用新型コロナウイルス感染症対策利子補給事業補助金
▼400万円 減額**問** この事業の詳細や実績は。**答** 新型コロナウイルスにより経営に大きな影響を受けている中小企業の経営安定化のため、奄振交付金を活用し、金融機関から借入れた資金の金利負担を軽減するもの。実績としては66件の交付申請、今後予定が23件あり、今回の補正は当初予算からの差額分を減額したもの。**軽石対策緊急支援事業**

▼300万円

問 軽石漂着の状況は。**答** 宇宿漁港210平米、小湊漁港61.78平米の軽石を除去しており、ボランティアや市職員の協力もいたっている。現在、微量ながら軽石が漂着しているが、2〜3日後には潮流によってなくなったりすることを確認している状態である。**インボイス制度実施中止を求める意見書採択を求める陳情**

▼不採択

委員の意見…中小企業にとつては事務が煩雑になる可能性があるのが気持ちは理解できる。国の税制というところで事業者に対する制度への理解を求めることが現在の課題。制度の中止ではなく延期を求めたほうが良いと思われる。

総務企画委員会

一般財団法人奄美市開発公社への代位弁済について

問 代位弁済金を補償補てん及び賠償金の項目で支出する理由。**答** 奄美市と鹿児島銀行で締結した一般財団法人奄美市開発公社への融資に当たつての損失補償契約に基づくため。**事業所支援事業(新型コロナウイルス感染症緊急対策事業)****問** 事業の内容について。**答** 事業所に対する直接的な支援というところを行うための財源で、臨時交付金の中でも特別枠というような位置づけになっており、例えば事業所支援給付金のように、事業所に対して直接助成などを行う事業といったものを想定している。**「敵基地攻撃能力保有」反対の決議を求める陳情**

▼不採択

【陳情事項】

奄美市議会として「敵基地攻撃能力保有」に反対の決議をすること。

【議員からの主な意見】

○国の政策とはいえども、奄美に非常に関係することから、もっと声を上げるべき

○現在の社会情勢、特に近隣諸国との関係性を見ても、必要ないとはいえない

特別会計予算等審査

議案10件を審査し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。事業や議案の一部をご紹介します。

国民健康保険事業特別会計予算 53億9,917万7千円
国民健康保険直営診療施設勘定特別会計予算

2億8,039万6千円

後期高齢者医療特別会計予算 5億8,520万9千円

介護保険事業特別会計予算 53億4,629万9千円

訪問看護特別会計予算 3,851万3千円

と畜場特別会計予算 2億7,841万1千円

交通災害共済特別会計予算 534万1千円

奄美市水道事業会計予算 *23億4,451万円

奄美市下水道事業会計予算 *33億6,990万4千円

(*収益的収入と資本的支出の合計額)

奄美市国民健康保険事業特別会計予算について

問 未就学児均等割繰入金126万8,000円の同額を市が負担し、全額免除にならないか？**答** 一般会計からの繰り入れがある時点では市民の理解は得られないと考えている。

奄美市訪問看護特別会計予算について

問 笠利地区での訪問看護の利用者について。**答** 利用人数は約80名ぐらいいで、ほとんどが高齢者の方であるが、難病で自宅療養の方も利用している。

奄美市水道事業会計予算について

問 当年度純利益が1,000万円を割る要因は？**答** 人口減少に伴い、給水収益自体は年々減少傾向にある。一方、費用自体は減少しているものの、減価償却費が増加傾向にあるため、収益より減少幅が小さく、純利益の減少につながっている。来年度予算についても減少見込みということで計上している。

番号	件名	議決結果	付託委員会
議案第26号	奄美市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決	本会議
議案第27～29号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	本会議
議案第30～45号	農業委員会委員の任命について	同意	本会議
議案第46号	副市長の選任について	不同意	本会議
議案第47号	教育委員会委員の任命について	同意	本会議
発議第1号	ロシアのウクライナ侵略を非難する決議について	原案可決	本会議
発議第2号	奄美市議会基本条例の一部を改正する条例について	原案可決	本会議
発議第3号	奄美市議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決	本会議

請願・陳情の状況

受理番号	件名	提出者	議決結果	付託委員会
陳情第1号	「敵基地攻撃能力保有」反対の決議を求める陳情	戦争のための自衛隊配備に反対する奄美ネット 代表 城村 典文	不採択	総務企画

■前定例会からの継続審査

受理番号	件名	提出者	議決結果	付託委員会
令和3年陳情第3号	奄美市住用町市湾の沿岸に堆積している土砂の撤去に関する陳情	住用町市集落 区長 森 紘道	一部採択	産業建設
令和3年陳情第7号	「インボイス制度実施中止を求める意見書」の採択を求める陳情	奄美民主商工会 会長 濱田 幸造	不採択	産業建設

賛否が分かれた案件

議案番号・件名	議員名（議席番号順）																				【○賛成数】	【●反対数】		
	幸多拓磨	弓削洋平	永田清裕	和田霜析	松山さおり	林山克巳	正野卓矢	橋口耕太郎	栄ヤスエ	大迫勝史	奥晃郎	竹山耕平	元野景一	関誠之	崎田信正	荒田幸司	与勝広	西公郎	奥輝人	伊東隆吉			川口幸義	多田義一
「敵基地攻撃能力保有」反対の決議を求める陳情	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	—	●	●	●	●	3	18
「インボイス制度実施中止を求める意見書」の採択を求める陳情	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	—	●	●	●	●	4	17

表決の結果を掲載しています。（○は賛成・●は反対）

※無記名投票による結果は掲載しておりません。

※西公郎議員は議長職の為、表決権はありません。

第1回定例会の議案

番号	件名	議決結果	付託委員会
	専決処分の報告について（専決第2号 損害賠償の額を定めることについて）		
	専決処分の報告について（専決第3号 和解及び損害賠償の額を定めることについて）		
	専決処分の報告について（専決第4号 市営住宅明渡し等請求に関する訴訟の提起について）		
	専決処分の報告について （専決第5号 市営住宅の使用料滞納に係る訴え提起前の和解申立てについて）		
	専決処分の報告について （専決第6号 市営住宅の使用料滞納に係る訴え提起前の和解申立てについて）		
報告 第1号	専決処分の報告について （専決第1号 令和3年度奄美市一般会計補正予算（第7号）について）	承認	本会議
議案 第1号	令和3年度奄美市一般会計補正予算（第8号）について	原案可決	全委員会
議案 第2号	令和3年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	文教厚生
議案 第3号	令和3年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算（第3号）について	原案可決	文教厚生
議案 第4号	令和3年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）について	原案可決	文教厚生
議案 第5号	令和3年度奄美市訪問看護特別会計補正予算（第1号）について	原案可決	文教厚生
議案 第6号	奄美市過疎地域持続的発展計画の変更について	原案可決	総務企画
議案 第7号	奄美市道路線の認定について	原案可決	産業建設
議案 第8号	公有水面の埋立てについて	原案可決	産業建設
議案 第9号	令和4年度奄美市一般会計予算について	原案可決	一般会計
議案 第10号	令和4年度奄美市国民健康保険事業特別会計予算について	原案可決	特別会計
議案 第11号	令和4年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計予算について	原案可決	特別会計
議案 第12号	令和4年度奄美市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	特別会計
議案 第13号	令和4年度奄美市介護保険事業特別会計予算について	原案可決	特別会計
議案 第14号	令和4年度奄美市訪問看護特別会計予算について	原案可決	特別会計
議案 第15号	令和4年度奄美市と畜場特別会計予算について	原案可決	特別会計
議案 第16号	令和4年度奄美市交通災害共済特別会計予算について	原案可決	特別会計
議案 第17号	令和4年度奄美市水道事業会計予算について	原案可決	特別会計
議案 第18号	令和4年度奄美市下水道事業会計予算について	原案可決	特別会計
議案 第19号	奄美市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	特別会計
議案 第20号	奄美市内海公園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案 第21号	奄美市バンガロー施設条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案 第22号	奄美市定住促進住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案 第23号	奄美市任期付市費負担教職員の採用、給与及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案 第24号	令和3年度奄美市一般会計補正予算（第9号）について	原案可決	一般会計
議案 第25号	奄美市長及び副市長の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決	本会議

議会の動き

【2月】

- 2日 議会だより編集委員会
9日 議会運営委員会
15日 議会開会・議会運営委員会
16日 群島内各種協議会
17日 常任委員会（文教厚生）
18日 常任委員会（産業建設）
21日 常任委員会（総務企画）
22日 全員協議会・本会議

【3月】

- 3日 一般質問
4日 一般質問
7日 一般質問
8日 一般質問・議会運営委員会
9日 本会議
10日 予算特別委員会
11日 予算特別委員会
14日 予算特別委員会
16日 予算特別委員会
24日 議会運営委員会
25日 本会議・全員協議会
27日 宮古崎トンネル開通式典

【4月】

- 1日 奄美市合同入社式
3日 関西奄美会第105回総会
芸能大会
大浜海浜公園海開き
8日 奄美市転入教職員合同着任式
議会議長・事務局長合同会
19日 県市町村連携会議
(WEB会議)
21日 議会運営委員会
県市議会議長会定期総会
27日 第1回臨時会

第2回定例会の予定

令和4年6月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
		開会	一般質問			
19	20	21	22	23	24	25
	一般質問	本会議	委員会			
26	27	28	29	30		

令和4年7月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					最終本会議	
3	4	5	6	7	8	9

「議会をご覧になりませんか」

議会では、市民生活に関係のある重要な問題が審議されています。

議会を傍聴して、市政の動向や皆さんが選んだ議員の活動を間近でご覧になれます。



「傍聽」

事前連絡は不要です
奄美市役所名瀬庁舎8階
にお越しください。

「議會中継」

議会の様子を
インターネットで
生中継しています。

市議会だより

編 集 委 員 会



【委原長】

荒田 幸司

【副委員長】

和田
霜析

【女員】

幸多
拓磨

林山克巳

関誠之

与勝広

多田 義一

編集あとがき

令和4年3月23日に大島高校が聖地甲子園に2度目の出場を果たしました。奄美市民のみならず、奄美群島、全国の奄美関係者に再び感動を与えてくれました。市議会議員は、これから島の子供たちが活躍できるよう、当局と一緒に活気あふれる奄美市を作ってまいります。さて、第1回例会が2月15日から3月25日までの39日間行われました。今回の議会では、補正予算及び2022年度予算47議案を審議致しました。2022年度予算は昨年度と同額程度の一一般会計314億597万5千円、特別会計119億3,334万6千円の審議を行い、全会一致で可決いたしました。議案は47議案中46件を全会一致で可決、1議案が不同意となりました。また、2陳情に対しても審議を行い、1陳情が一部採択、1陳情が不採択となりました。一般質問は、22名の議員中19名の議員が市政全般にわたり当局に質問いたしました。議会の様子は奄美市のホームページでも確認できますので、是非ご覧ください。これから市民のみなさんに分かりやすい議会を目指してまいりますので、議会だよりをお目通しただけなら幸いです。

(和田 霜析)